

第10回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年10月20日
会場：杉並第一小学校

「みんなのしあわせ」ってどんなこと？

「杉並区教育ビジョン2022」では、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。今回の意見交換会は、杉並第一小学校の6年生が「みんなのしあわせ」って一体どんなことなのかを話し合いました。2クラス混合の班で意見交換を行い、いろいろな人の考えに触れる貴重な機会となりました。



会場の様子

①「自分のしあわせ」ってなんだろう

児童は事前に「自分のしあわせ」を考えてくれていました。意見交換会の冒頭で、それぞれが考えてきた「自分のしあわせ」を共有しました。みんなの意見をまとめると「家族・友達といること」が全体の36%で一番多く、周りの人の存在がしあわせに大きく関わっているとする児童が多いことが分かりました。「好きなこと・やりたいことをすること」が29%と次に多く、自由にやりたいことができることを大切だと考える児童も多いこと

が分かりました。他にも、「人を喜ばせること」という回答があり、人のしあわせと自分のしあわせをつなげて考える児童がいることが分かりました。

②「みんなのしあわせ」ってなんだろう

人それぞれ、さまざまなしあわせがあることが分かったところで、班になって「みんなのしあわせ」とはどんなことなのかを話し合いました。

ある班では「みんなのしあわせとは、みんなが自由にいられること」と考え、「ルールは必要なのか」と話し合っていました。「ルールは自由を制限するものだから必要ない」という意見が出れば、「自分勝手になってしまうと、みんなのしあわせじゃなくなる。多少のルールは必要だと思う」という意見も出ました。さらに「多い少ないではなくて、納得できるルールなのかが重要なのでは」「そう。ルールの意味に納得できたら、不自由とは感じない」と意見が活発にやり取りされ、議論が深まっていきました。



どの班も「みんなのしあわせ」という難しい課題に悩みながらも、意見を出し合っていました。



各班の代表者が話し合いの内容を発表してくれました。

③各班の発表

班での話し合いの後、代表者が班で考えた「みんなのしあわせ」を発表しました。

ある班は、みんなのしあわせとは「好きなことができる環境である」として、今の自分たちを取り巻く環境とそれに関わっている人達に対する感謝の思いを話してくれました。

また別の班では、みんなのしあわせとは「適度な距離を取り、お互いを思いやること」と話してくれました。「自分が自由に好きなことができること」を大事にしながらも、「人と人がちゃんとつながっていなく

てはいけない」とし、この両立を「適度な距離」と表現してくれました。

他にも「みんなが平等で、助け合える友達がいること」と発表してくれた班もあり、「助け合える」としたところに、「自分も友達を助けたい」という思いがあることが分かりました。

④振り返り

班での意見交換や、各班の発表を聞いての振り返りを行いました。ある児童が今回の意見交換会で感じたことを次のように話してくれました。「私は『しあわせ』を考えるために、『しあわせじゃないこと』を考えてみました。すると戦争などが起きている世界のことが頭に浮かび、学校がとてもしあわせな場所だと気づきました。大人になったら寄付や募金をして、しあわせを創ってあげられるようになりたいと思います。」

⑤教育長から

今日の授業は、「しあわせ」という答えが無いことについて話し合ってもらいました。

世の中に出ていくと、答えが無いことがほとんどです。自分たちで答えを探そうとして、何かしらのよりどころ見つけなくてはいけなくなります。今日はそのためのいい体験ができたのではないのでしょうか。



白石教育長

意見交換会を振り返って

今回は、児童たちだけで意見交換をしてもらいましたが、どの班も自分たちで議論を作っていく様子があり、児童の考える力を改めて感じることができました。そして、「自分」も「みんな」も一緒にしあわせになるということを当然のようにみんなが共有をしてくれていて、とても頼もしく感じました。

第10回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年10月20日
- ・参加者 杉並第一小学校6年生

令和4年11月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111